

4
April

俳句

(2024)



目次

徒然俳句	モーロク俳句	たべもの俳句
1	5	10
＼	＼	＼

4 月の和名は「卯月（うづき・うつき）」と読みます。
由来としては、ウヅキの花である「卯の花」が咲く季節（実際の開花期は 5 ～ 6 月）だから、という説が有力だそうです。もともと卯月は旧暦の 4 月を指す言葉でした。現在は旧暦 4 月＝新暦 4 月と考え、卯月を新暦の 4 月の別名として使用しているそうです。

（宇佐美保幸）メール・yasuyuki.usami@gmail.com

毎日の俳句は次のブログに
巣鴨とげぬき徒然俳句

<https://blog-haiku.777usami.com>

日本の春爛漫を全世界

チューリップバブル経済過去にして
チューリップ歌うソプラノ青空に
キーボード早さを競うチューリップ

花の雨少し高価な豆腐買ふ
やどかりはマンション嫌い一戸建て

夜桜やふつつつとあやしき血
夜桜や遺伝子治療血の流れ

起立礼新人生は礼儀よく
ムスカリを見つけてうれし春の川

二人静なおにさびしく寄り添いて

化粧する男が増えて桃の花



春の闇立ち飲み酒場池袋
街角の監視カメラに春の闇
パソコンの画面突然春の闇
ネモフィラや青の幻想春の闇
闇バイト家族も地獄春の闇

やわらかき音に癒やされ春の雨
木の芽雨ジャズボーカルをながら聴き
ダラダラと国会質疑春の雨

深海魚光もなくて春の夢
春の夜のブログ書く間も曲流れ

木洩れ日の素颜質素に座禅草

宅配のピザを待つ間に桜散る
魑魅魍魎深眠りして桜散る



花吹雪豊かなりけりあの世まで
花筏ボート無残に壊しけり

あちこちにこんがらがって豆の花
豆の花いつまで花でありたいと

穀雨かな牡丹の蕾いじめけり

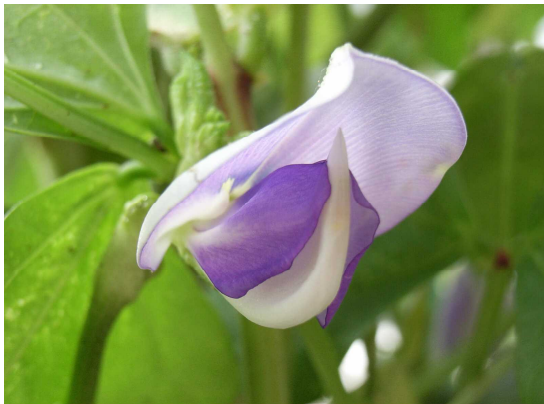
桜薬や疎まれながら降りしきる
桜薬降りしきりけり降りしきる

高速道物流激し朧の夜

朧夜に数を数えて処方薬

朧夜やスカイツリーもゆらゆらと

磯巾着男もピアス化粧する
桜貝メール忘れて忘られて



燃える赤全山つつじパノラマで
芝桜色を競いて背は伸びず

葉桜の中の暗闇胸騒ぎ
立ち飲みになおも春雷鳴りやまず

藤棚に憩うあいまいもこな顔

墓買へと靈感商法昭和の日
昭和史は暗闇多く昭和の日

ゴージャスな牡丹の花も一時か



モーロク俳句

モーロクしされど終活四月馬鹿

モーロクし死は花の下願いけり
モーロクし積年の錆花の下

モーロクし昼風呂欠伸さくらどき
モーロクす「日本の闇」に桜咲く

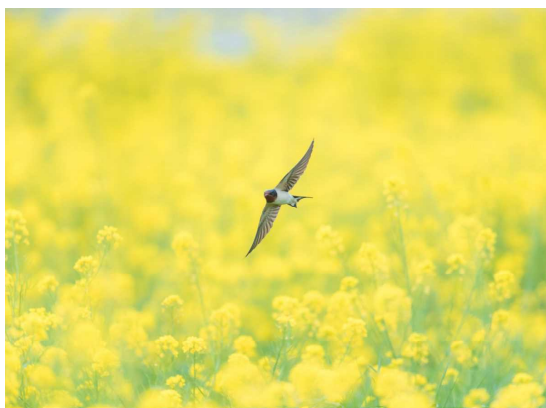
今日を生きあしたモーロク八重桜

春の空我が眼球もモーロクし

春の空斑模様にもーロクす

春の空モーロクすれば広すぎる

春の日のペリカンを見てモーロクす



つまらない春の日過ぎてモーロクす

モーロクし殺意も消えて春の風

モーロクしよそよそしくに春の風

モーロクし目覚めてもなお春の夢

モーロクし鏡を壊す春の夢

朝つばめ有限無限モーロクす

生きて死すモーロク進む花吹雪

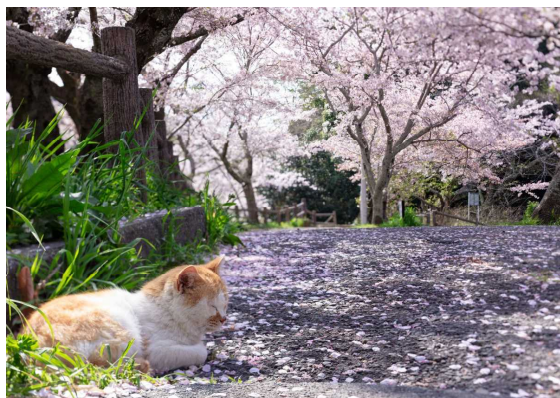
モーロクし悠々自適花ふぶき

モーロクし能なしのわれへ花吹雪

花吹雪モーロクすれば生きて死す

花ふぶきモーロクすれば死も生も

今年また残花を惜しみモーロクす



モーロクし頭断髪桜散る
日本人みんなモーロク桜散る
花散つて紆余屈折やモーロクす

モーロクし生卵飲み山笑う
モーロクし繰り言多く山笑ふ
モーロクしされど今なら山笑う

モーロクし木乃伊となりて黄砂降る
モーロクもひとそれぞれの春きやべつ

モーロクししやぼん玉吹にもなみだぐむ

老夫婦二人モーロク二輪草
モーロクの不安それぞれ二輪草

モーロクし人にもどれぬ葱坊主
モーロクし薄き影追ひ青き踏む



モーロクし無人駅にて青き踏む

桜蕊降りつぐ雨にモーロクす
花は葉にモーロクすれば介護バス
モーロクし短き未来花は葉に

濃山吹花びら落としモーロクす
モーロクし紙風船はふくらまず

モーロクし気をつけていて春の風邪
モーロクし微睡みあがく春の風邪
モーロクし懐かしき夢春の風邪

モーロクしされど湯浴みを春の暮れ
モーロクし長湯湯疲れ遠蛙
ケロケロとモーロク多く蛙鳴く

行く春やモーロクすれば人疲れ



夏近しモーロクすれど顔洗ふ
モーロクし藤棚下は黄泉の道



たべもの俳句

茹玉子上手に剥けて四月馬鹿
四月馬鹿死んだふりしてあんパンを

春キヤベツりんごの甘みコールスロー
春キヤベツだし汁ジュワツとだしびたし
春キヤベツ丸ごと煮込み食卓へ

あんパンとクリームパンの花の昼
公園でランチパックを春の雲

今日は雨今日の三時は桜餅

夜桜や赤いきつねのひとり者
菜の花と筍パスタ塩味で



葉わさびの辛みと香りしょうゆ漬け
塩ゆでのグリーンアスパラマヨソース

シヤキシヤキとうどの歯ごたえ甘酢漬け
うどの皮おいしい一品きんぴらに

こんがりとしたけのこ焼いて醤油漬け
そら豆の素揚げにチーズこくプラス

桜散る揚げずにサクサクハムカツを
家族皆レトルトカレーで桜散る

花鳥賊に酢味噌を添えて吟醸酒
バター焼きあさりと新玉激うまに

ワインかなノンアルコール春の月
ステーキにナイフ寸前春の雷



春にんじんピリ辛サラダパリッポリッ
ビーフシチュー煮るうち香る春の暮

煮るうちに煮豚味浸み春の暮
茎立菜塩ゆできざみおにぎりに

ホタルイカ辛子酢味噌で酒を酌む

羽餃子うまく焼けたぞ山笑う
春キヤベツたっぷりフレッシュ棒餃子

麻婆豆腐レンジでチンとよなぐもり
酒饅頭いくつ食べても春の雷



